

平成 27 年度事業報告書



社会福祉法人 双樹会

目 次

法人本部	2
事業所別実績報告	6
特別養護老人ホーム 陽光の家	7
陽光の家 短期入所生活介護	13
陽光の家 通所介護事業所	15
陽光の家 訪問介護事業所	17
陽光の家 居宅介護支援事業所	19
広島市城山・五日市観音地域包括支援センター	21

【取り巻く環境】

平成 27 年度は、2025 年(平成 37 年)に向けて「地域包括ケアシステム」の構築を実現してゆくために

- ① 中重度の要介護者や認知症高齢者への対応の更なる強化
- ② 介護人材確保対策の推進
- ③ サービス評価の適正化と効率的なサービス提供体制の構築

といった基本的な考え方に基づき、賃金・物価の状況・介護事業者の経営状況等を踏まえた全体で改定率▲2.27%という、介護報酬改定が行われた。

また、平成 27 年 4 月 3 日に第 189 回通常国会へ法案提出された「社会福祉法等の一部を改正する法律」は、平成 28 年 3 月 31 日第 190 回通常国会にて成立し、同日公布された。これにより、社会福祉法人の経営組織の見直し、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化などに対応してゆくこととなった。

法人本部

1. 役員の状況及び理事会・評議員会・監査の開催状況

平成 27 年 8 月 8 日が理事・監事・評議員の任期満了日となるため、5 月 23 日開催の第 1 回理事会・評議員会において審議を行い、理事定数 6 名・評議員定数(理事兼務を含め)13 名・監事定数 2 名、各々承認を得た。任期は、平成 27 年 8 月 9 日より平成 29 年 8 月 8 日迄の 2 年間。

平成 28 年 3 月 31 日現在、欠員なし。

I. 理事会

回	日時	場所	議案	出席状況 上段:理事 下段:監事
1	H27.5.23 14:55～	ナカムラ病院 研修室	(1) 平成 26 年度事業報告(案)について (2) 平成 26 年度決算(案)について (3) 評議員の改選について (4) 規定の変更について	5/6 2/2
2	H27.8.8 14:15～	ナカムラ病院 研修室	議案審議なし 報告事項のみ	6/6 2/2
3	H28.3.26 15:10～	ナカムラ病院 研修室	(1) 平成 27 年度補正予算(案)について (2) 平成 28 年度事業計画(案)について (3) 平成 28 年度決算(案)について (4) 非常用発電機更新工事について (5) 規則の変更について	5/6 2/2

II. 評議員会

回	日時	場所	議案	出席状況
1	H27.5.23 13:30～	ナカムラ病院 研修室	(1) 平成 26 年度事業報告(案)について (2) 平成 26 年度決算(案)について (3) 理事・監事の改選について (4) 規定の変更について	11/13
2	H27.8.8 13:30～	ナカムラ病院 研修室	議案審議なし 報告事項のみ	12/13
3	H28.3.28 13:30～	ナカムラ病院 研修室	(1) 平成 27 年度補正予算(案)について (2) 平成 28 年度事業計画(案)について (3) 平成 28 年度決算(案)について (4) 非常用発電機更新工事について (5) 規則の変更について	11/13

III. 監査

・ 法人内監査

日時：平成 27 年 5 月 15 日 午前 10 時より

場所：特別養護老人ホーム 陽光の家 会議室

監査資料：事業実績報告書、収支計算書、事業活動計算書、仕訳伝票、預金残高証明書及び預金通帳、貸借対照表、財産目録、総勘定元帳

・ 平成27年度社会福祉施設指導監査

指導監査対象 陽光の家(特養)

書面による指導監査

2. 施設整備等

時期	内容	場所	業者名	金額
4 月	送迎車輛 車椅子移動車	通所介護	広島トヨペット(株)	3,350,000 円
11 月	電動ベッド1台	〃	日本基準寝具(株)	116,700 円
3 月	事務所内装改装(増床)	地域包括	エネオンズ(株)	1,036,800 円
合計				4,503,500 円

3. 職員研修実施状況

I. 施設内研修一覧

日付	研 修 名	講師・発表者	人数
4/10	平成27年度事業計画報告 研修制度について	施設長 他	19
4/24	介護保険制度 基礎編	在宅総括主任	21
5/12	メンタルヘルス(ストレスケア)	特養・介護職主任	22
5/22	腰痛予防とトランスファー	特養・理学療法士	25
	接遇マナー研修(6/12・7/17 2回実施)	外部講師	63
6/26	認知症に関する基礎知識	特養・介護職主任	10
7/30	虐待防止・介護保険制度	地域包括センター長	15
8/7	食中毒と食育について	管理栄養士	19
8/25	高齢者施設における災害時のBCP研修	施設総括主任	20
9/4	中国地区老人福祉施設研究大会報告会	研修参加者 6名	27
9/10	ターミナルケア研修	特養 看護主任	26
9/25	実践介護研修「福祉用具を実際に使用してみよう」	理学療法士	17
10/9	感染症予防について	特養 看護主任	23
11/12	法人の理念について	事務長	31
11/26	感染症予防	外部講師	28
12/4	身体拘束・虐待防止について	地域包括センター長	20
2/17	認知症実践リーダー研修・実践者研修報告	特養相談員他3名	21

日	研 修 名	講師	人数
4/16	ホスピタリティと利用者満足		12
	リスクマネジメント概論(6/18・8/20 2回実施)		56
9/17	考課者研修「人事管理と人事考課」	外部講師: (有)コンサルティングブレイン 縫部 毅 氏	6
	リスクマネジメント・分析と対策(10/15・11/19 2回実施)		60
	交流分析と対人関係能力(1/21・3/17 2回実施)		58

日付	事例発表 テーマ	発表者	人数
7/30	キーパーソンが定まらない家族の支援に配慮した事例	地域包括 保健師	15
8/25	特養入所者の関節可動域の改善について	特養・理学療法士	20
10/23	個別機能訓練Ⅱの取り組み	通所・理学療法士	31
	これからの高齢者介護における在宅支援	訪問・サービス提供責任者	
12/10	通所サービスを利用することにより生活習慣を取戻しつつある事例	居宅・介護支援専門員	24
	嚥下食について	調理員	
2/4	特養での看取りの現状について	施設総括主任他2名	22
	当施設の抱えない介護への取り組み	特養・理学療法士	

II. 施設外研修受講一覧(抜粋)

時期	研修名	実施機関	人数	職種
6~3月	施設・居住系ケアプラン作成研修	広島県介護支援専門員協会	1	施設 介護支援専門員
通年	広島市認知症介護実践研修「実践者研修」	広島市老人福祉施設連盟	4	特養 CM 介護 看護 通所 介護
通年	広島市認知症介護実践研修「実践者リーダー研修」	広島市老人福祉施設連盟	1	特養 相談員
7/3	地域ケア会議で未来を育む	広島県地域包括ケア推進センター	2	包括 社会福祉士
7/15	社会福祉法人事務研修会	広島市監査指導室	1	事務長
7/15・16	2015年度広島県高齢者虐待対応研修	広島県社会福祉士会	1	包括 主任介護支援専門員
7/31	広島市中堅職員「高齢者施設における災害時のBCP研修」	広島市老人福祉施設連盟	2	施設・在宅 総括主任
8/26・27	ひもときシートを活用した認知症のケアの気付きを学ぶ研修会	認知症研究・研修東京センター	1	特養 介護職主任
8/27・28	中国地区老人福祉施設研究大会	中国地区老人福祉施設協議会	2	特養 PT、介護 看護 通所 介護
8・9月	平成27年度介護福祉士実習指導者講習会	日本介護福祉士会	1	特養 介護職
9/5	朝来市発・地域ケア会議視察研修会	朝来市ケアマネ主任介護支援専門員部会	1	包括 介護支援専門員
10/13・14	平成27年度地域包括支援センター職員現任研修	中国7ブロック・在宅介護支援センター協議会	1	包括 主任介護支援専門員
10/19・22	介護予防ケアマネジメント指導者研修	広島市介護保険課	1	包括 社会福祉士
10・11月	機能回復訓練研修(第1回・第2回)	広島市老人福祉施設連盟	2	特養 介護 通所 介護
10/20	キャリア段位制度評価者(アセッサー)講習	広島県シルバーサービス振興会	4	特養 介護職主任・リーダー
11/17	平成27年度地域包括支援センター職員課題別研修	長寿社会開発センター	1	包括 主任介護支援専門員
11/25	介護福祉施設「労働災害防止講習会」	廿日市労働基準監督署	1	事務長
12/21	高齢施設のための感染症対策	厚生労働研究費補助金エイズ対策	1	給食 管理栄養士
1/29	認知症アドバイザー養成講座	広島市高齢福祉課	1	特養 相談員
2/16	平成27年度事例研究発表会	広島市老人福祉施設連盟	1	特養 PT

5. 実習生受入れ状況

前年度 5 団体 7 人から 4 団体 13 人へ延べ人数は増加。

	実習依頼元	実習期間	人数	備考
1	広島福祉専門学校	H27.9.28～H27.10.24	1	介護福祉士2年
2	トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校	H27.11.16～H27.12.12	2	相談援助実習 保育社会福祉学科3年
		H28.2.8～H28.2.20	1	介護福祉士1年
		H28.2.29～H28.3.12	2	介護福祉士1年
3	IGL健康福祉専門学校	H27.7.6～H27.7.11	2	介護福祉士1年
		H27.10.19～H27.10.31	2	介護福祉士1年
		H27.11.9～H27.11.29	1	社会福祉現場実習 介護福祉士2年
4	介護労働安定センター	H27.10.22～29	2	介護職員実務者研修
	合計	4団体	13	人

6. ボランティア受入れ状況

【定期】

活動	部署	活動日時
生花クラブ	特養・通所	毎月 1 回
書道クラブ	通所	毎月第 4 火曜日
話し相手・歌など	特養	毎週火曜日
シーツ交換	〃	毎週月曜日

【演芸】

来園日	内容
4/11・8/21・12/7	大正琴
5/16(開設記念)	歌・踊り
7/2	歌
7/20、12/23	歌・踊り
9/6(敬老会)	手品

7. 家族介護教室の開催

平成 27 年度広島市受託家族介護教室として、以下のとおり開催。

1 回目

日 時：平成 27 年 8 月 22 日(土) 10:00～11:30

場 所：坪井公民館

内 容：腰に負担の少ない介護技術の実践～介護機器使用での移乗介助の実践～

講 師：特別養護老人ホーム陽光の家 理学療法士

参加者：23 人(介護家族：23 人 近隣援助者等：0 人)

2 回目

日 時 : 平成 27 年 12 月 5 日(土) 13:30~15:30

場 所 : 佐伯区役所別館(地域福祉センター) 6 階 大会議室

内 容 : 介護機器を活用しよう~ケアに役立つ活用法~

講 師 : 外部講師

参加者 : 13 人(介護家族: 8 人 近隣援助者等: 5 人)

事業所別実績報告

【平成 27 年介護報酬改定への対応】

① 基本報酬が減額となったところを、各種加算を算定できる体制にすることで減収分を補填すること。

平成 27 年度より算定開始した加算項目

部署	加算項目	単位	年間単位	年間概算額
特養	看護体制加算(I)イ	6	106,722	1,115,245
	看取り介護加算		46,752	488,558
	個別機能訓練加算	12	212,568	2,221,336
	小計			3,825,139
通所	認知症加算	60	211,020	2,205,159
	中重度ケア体制加算	45	348,615	3,643,027
	小計			5,848,186

H27.1~

② 介護職員処遇改善加算 I の算定

部署	平成27年度		平成26年度		増加額
	加算率	金額	加算率	金額	
特養	5.9%	9,722,310	2.5%	4,301,704	5,420,606
短期入所	5.9%	1,212,481	2.5%	578,587	633,894
通所介護	4.0%	3,031,843	1.9%	1,428,703	1,603,140
訪問介護	8.6%	860,692	4.0%	453,707	406,985
合計		14,827,326		6,762,701	8,064,625

1. 特別養護老人ホーム 陽光の家

I. 入所者の状況

(ア) 年間入所者の推移

27年度は、退所者20人・入所者19人、平成28年3月31日現在、在籍49人うち1人入院、48人在所で終了した。退所者の内訳は、死亡退所17人(12人が施設において死亡、5人は協力病院等にて死亡)、長期入院による退所3人となり、前年度対比5人増。延べ利用者数は、特養入所者17,787人、空床513、内36を短期入所として利用、合計17,823人で前年度より20人増。ただし、28年2月がうるう年で29日あったため分母が1日分増え、稼働率は、97.4%で前年度0.2%減少し、1日当たり48.7人が利用したこととなった。

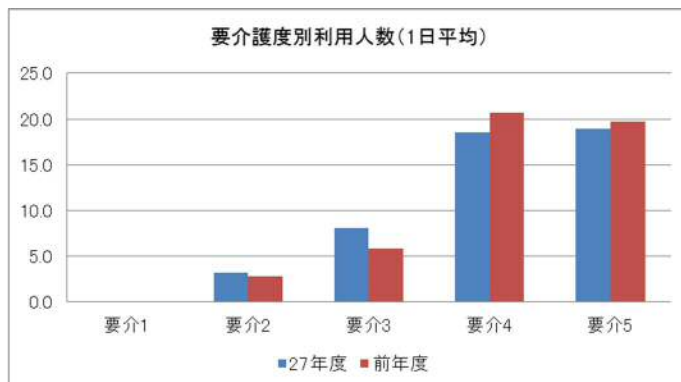
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
月末在籍数	49	49	50	50	50	50	50	50	49	50	50	49	
入所	1	5	1	1	3	1	1	2	0	3	0	1	19
退所	2	5	0	2	2	2	0	2	1	2	0	2	20
延べ利用者数	1,458	1,458	1,451	1,527	1,490	1,456	1,511	1,476	1,531	1,516	1,431	1482	17,787
空床利用	0	0	0	0	0	5	0	16	0	0	2	13	36
合計	1,458	1,458	1,451	1,527	1,490	1,461	1,511	1,492	1,531	1,516	1,433	1,495	17,823
27年度	97.2	94.1	96.7	98.5	96.1	97.4	97.5	99.5	98.8	97.8	98.8	96.5	97.4
1日平均実績	48.6	47.0	48.4	49.3	48.1	48.7	48.7	49.7	49.4	48.9	49.4	48.2	48.7
前年度実績	1,486	1,499	1,491	1,495	1,470	1,451	1,489	1,448	1,548	1,539	1,376	1,511	17,803
対比	▲28	▲41	▲40	32	20	10	22	44	▲17	▲23	57	▲16	20

入退所19人の退所日から次入所までの日数は延べ194日で1人当たり10.2日となり、26年度15.5日より5.3日短くなった。ベッド稼働率維持のために取り組んできた、入所候補者の選定と事前面談の前倒しの効果が出てきた結果といえる。

(イ) 要介護度別利用者人数(1日平均)

平成28年3月末現在、49名の入所者のうち37名が要介護4以上。年間平均介護度は、4.10で前年より0.13低くなった。

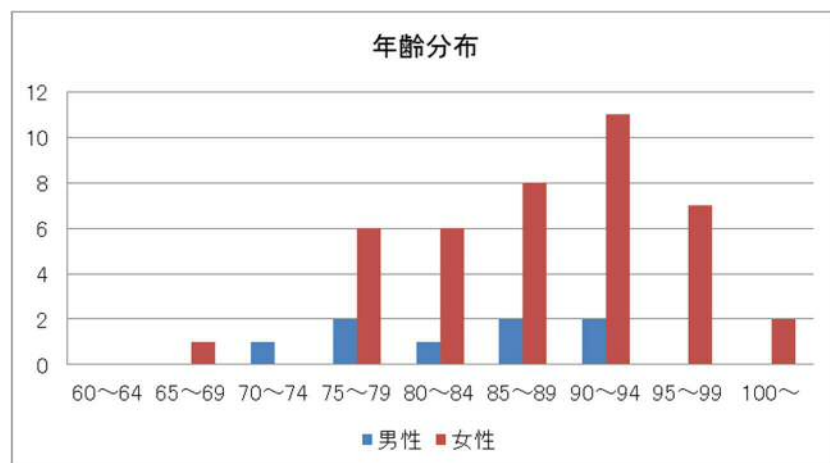
	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5	合計	平均介護度
27年度	0.0	3.2	8.1	18.5	18.9	48.7	4.10
前年度	0	2.8	5.8	20.7	19.7	49.0	4.23
対比	0.0	0.4	2.3	▲2.2	▲0.8	▲0.3	▲0.13



(ウ) 入所者年齢別及び平均年齢（平成 28 年 3 月末日現在）

男性と女性の入所人数は、男性 8 人・女性 41 人。平均年齢は、87 歳 9 ヶ月から 87 歳 3 ヶ月へ、最高年齢者は、100 歳から 101 歳となった。

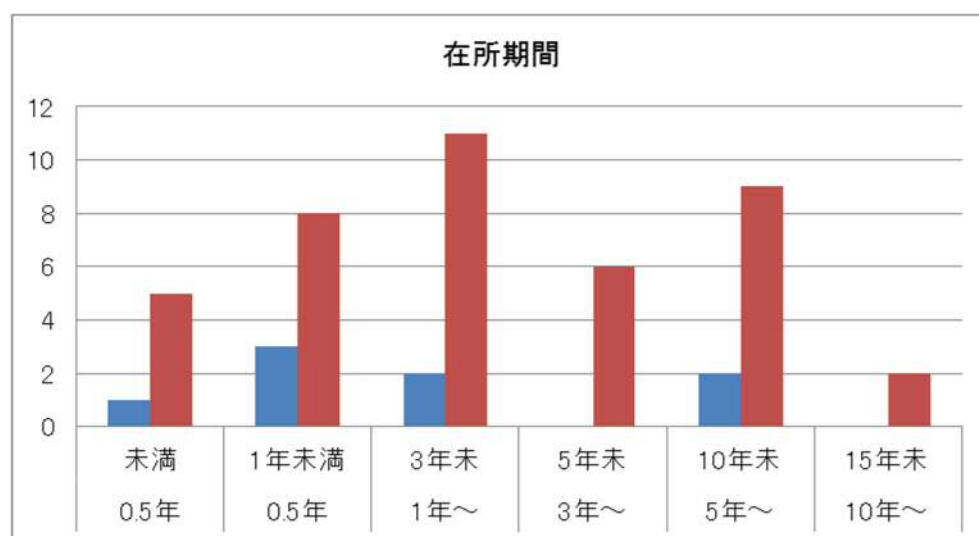
歳	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合計	平均
男性	0	0	1	2	1	2	2	0	0	8	84歳2ヶ月
女性	0	1	0	6	6	8	11	7	2	41	87歳10ヶ月
合計	0	1	1	8	7	10	13	7	2	49	87歳3ヶ月
最高年齢	101歳0ヶ月		最小年齢		65歳8ヶ月						



(エ) 入所者在所期間（平成 28 年 3 月末日現在）

年度末在籍者の平均在所期間は、前年度の平均在所期間 3 年 5 ヶ月から 3 年 2 ヶ月へ 3 ヶ月短くなった。最長在所者は前年と同一で、男性 8 年 2 ヶ月・女性 12 年 1 ヶ月となった。

期間	0.5年未満	0.5年1年未満	1年～3年未	3年～5年未	5年～10年未	10年～15年未	合計	平均
男性	1	3	2	0	2	0	8	2年6ヶ月
女性	5	8	11	6	9	2	41	3年3ヶ月
合計	6	11	13	6	11	2	49	3年2ヶ月
最長在所	12年1ヶ月		最短在所		0年0ヶ月			



(オ) 保険者別人数 (平成 28 年 3 月末日現在)

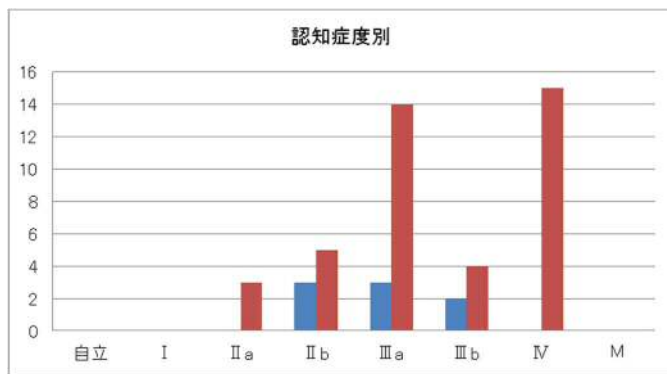
前年同日と比べ佐伯区▲2 人、中区 1 人と山口市 2 人が新たに加わり、安佐南区と廿日市が各 1 人減少した。佐伯区の占有率は 75.5%。

保険者	佐伯区	西区	中区	安佐南区	廿日市	上関町	山口市	合計
男性	6	1	0	0	0	0	1	8
女性	31	5	1	2	0	1	1	41
合計	37	6	1	2	0	1	2	49

(カ) 認知症度別人数 (平成 28 年 3 月末日現在)

下記の表のとおり、49 名の入所者のうち 37 名が認知症度Ⅲ以上。前年比Ⅲ以上▲8 人となった。

認知症度	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
男性	0	0	0	3	3	2	0	0	8
女性	0	0	3	5	14	4	15	0	41
合計	0	0	3	8	17	6	15	0	49



(キ) 入所申込者の状況

平成 28 年 3 月末日の申込者数は 340 人。平成 27 年度 1 年間の申込者数は 63 人、取下げが 196 人であった。申込者の介護度分布は下表のとおり。

介護度	1	2	3	4	5	合計
平成27年3月末	68	113	113	100	79	473
平成27年度申込数	7	6	23	17	10	63
平成27年度取下げ数	45	53	49	31	18	196
平成28年3月末	30	66	87	86	71	340

II. 職員の状況

実数では、期首(4月)49名から期末(3月)47名と介護職が2名減。

特養・短期入所 職種	平成27年度期首(4月)			H27年度期中		平成27年度期末(3月)			配置 基準	
	人数	内非常勤	常勤換算	採用	退職	人数	内非常勤	常勤換算		
施設長	1	0	1	0	0	1	0	1	1	
医師	1	1	0.1	0	0	1	1	0.1	1	
生活相談員	1	0	1.3	0	0	1	0	1.3	1	
介護支援専門員	1	0	1	0	0	1	0	1	1	
機能訓練指導員	1	0	1	0	0	1	0	1	1	
看護職	5	2	4	1	1	5	1	3.7	2	
内 訳	正看護師	1	1	1.0	1	1	1	0	1	介護・看護
	准看護師	4	1	3.0	0	0	4	1	2.7	
介護職	27	7	23.1	2	4	25	6	21.8	17	
内 訳	介護福祉士	15	3	13.6	0	1	14	3	12.6	
	その他	12	4	9.5	2	3	11	3	9.2	
管理栄養士	1	0	1	0	0	1	0	1	1	
調理員	5	1	4.6	0	0	5	1	4.6		
当直専門員	3	3	1.5	0	0	3	3	1.5		
事務員	3	1	2.7	0	0	3	1	2.7		
小計	49	15	41.3	3	5	47	13	39.7		

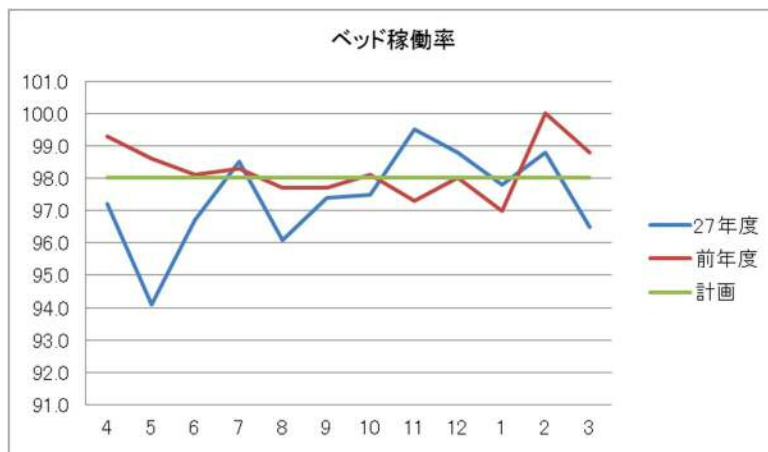
III. 事業計画の実施状況について

特養部門 平成 27 年度部門目標

- (ア) ベッド稼働率 98%
- (イ) 腰痛予防、抱えない介護の実践
- (ウ) 施設サービス計画の作成・実践・評価の徹底
(一人一人の意思と人格を尊重し、チームケアで自立支援を実践)
- (エ) 地域との連携・地域貢献活動の取り組み

(ア) ベッド稼働率 98%・・・実績 97.4%

短期入所の利用率低迷より、入退所入れ替りによる空床が利用に結びつかなかった。(前年比▲61床)



(イ) 腰痛予防、抱えない介護の実践

機能訓練指導員(理学療法士)による指導

施設内研修 1 回、特養勉強会 2 回(移乗方法とリフト・スライディングボードの使用の実践指導)

腰痛予防に関するアンケート 2 回実施(5 月・12 月)・・・結果を勉強会につなげた

職員面談 18 人実施

(ウ) 施設サービス計画の作成・実践・評価の徹底

(一人一人の意思と人格を尊重し、チームケアで自立支援を実践)

- ・ 事前面談にて情報収集。入所前後、家族からの聞き取りにて情報収集、意向調査を行なう。特養会議にて情報整理し介護手順書作成。年間を通じ、部屋担当が介護手順書 40 人作成。
- ・ 入所 2～3 週間後、担当者会議開催。毎月モニタリング実施。
- ・ 勉強会の実施

テーマ 実施日	講師	人数
パーソンセンタードケア 4/24	介護職主任	9
排泄ケア 8/28	外部講師	5
防災・ケアプラン研修 9/14・15・16	施設総括主任	18
リフト機器勉強会 10/13・14・15	理学療法士	10
移乗・スライディングボード勉強会 11/12～18	理学療法士	16
ケアプランICF・ストレングスの視点 2/15～19	施設総括主任	10

- ・ 家族及び家族会活動との連携

入所者に変化が起こった時の連絡・報告はもちろんのこと、日常的な生活状況や健康状態の連絡については、毎月 1 回利用請求時に、担当介護職・看護職・機能訓練指導員・栄養士からの状況報告(「ようこうファミリー」)を個別に作成し報告している。家族会活動は、家族会総会で承認を受けた事業計画に沿って下表の行事を実施した。

月日	行事	家族参加数
4.19(日)	家族会総会	24 人
5.16(日)	開設記念日(27 周年)	36 人
6.25(木)	ランチbuffet(広島グランドプリンスホテル)	4 人
7.25(土)	夏祭り	60 人
9.6(日)	敬老会	44 人
10.19(月)26(月)	ゆめタウン廿日市 外出	2 人
12.13(土)	もちつき・忘年会	53 人

(エ) 地域との連携・地域貢献

- ・ 認知症介護実践者研修及びリーダー研修への認知症コーディネーター派遣。
- ・ 認知症介護実践リーダー研修施設実習受け入れ 2 回 5 名
- ・ 家族介護者教室 2 回実施
- ・ 佐伯区世界アルツハイマーデー記念講演会 認知症サポーター 1 名派遣
- ・ 五日市観音西地区社会福祉協議会主催 敬老会 参加者の送迎支援・中学校吹奏楽部の楽器運搬

- ・ 五日市観音西地区ふれあいいいきサロン 体力測定のため理学療法士派遣

IV. 食事(栄養・調理)実施状況

栄養ケアプランは、カンファレンス等で情報共有しその都度食事への反映を行い、利用者本人や家族への説明を行った。これにより、利用者本人や家族および介護職から、より多くの食形態変更の希望が寄せられるようになった。また、食を通してコミュニケーションを図るように季節感のある食事の提供を行った。

(ア) 食事形態 (平成 28 年 3 月 31 日 現在)

食事形態	常食	キザミ	極キザミ	ペースト	経管栄養
食事数	15	14	12	6	2

(イ) 年間療養食加算取得状況

	貧血食	糖尿病食	心臓病食	腎臓病食
実人数	11	5	3	1
延べ日数	2,497	1,193	641	86

(ウ) 栄養年報

区分/栄養量	エネルギー kcal	たんぱく質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミンA IU	ビタミンB1 mg
栄養所要量	1,518	51.6	33.5	617	6.1	675	0.9
栄養摂取量	1,423	62.0	36.9	588	7.5	592	0.8

栄養所要量(計画) 栄養摂取量(実績)

(エ) 行事食等

内容		実施日	内容		実施日
開設記念日	バイキング	5/16	忘年会	寄せ鍋・餅つき	12/12
土用の丑の日	うな重	7/24	新年互礼会	松花堂弁当	1/1
夏祭り	バイキング	7/25	新年	雑煮	1/2
敬老会	松花堂弁当	9/6	節分	巻きずし	2/3
お彼岸	おはぎ	9/24・3/24	雛祭り	雛様寿司	3/3
			選択食		3/11

V. 防災訓練等

(ア) 自衛消防訓練実施状況

実施日	訓練内容	参加者				備考
		入所者	通所	職員	計	
6.17	総合訓練(夜間想定)	25	4	21	50	消防職員・2名立会
10.28	総合訓練(夜間想定)	30	0	21	51	〃

広島市消防局主催 第 49 回自衛消防隊消防競技大会 平成 27 年 12 月 1 日開催
消火器男女の部 2 名 1 組 参加

(イ) 非常食備蓄状況 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

種類	水	主食			副食	
		ご飯	粥	パン(缶)	レトルト食品	缶詰
数量	20×306 本	190 食	182 食	24 食	300 食	200 食

職員・協力者用別途備蓄 90 食

VI. 広島市受託事業

生活指導短期宿泊事業は、利用者なし。

受託業務名	実績金額	実利用者	延べ利用者
広島市重度身体障害者入浴サービス事業	329,600	2	103
広島市生活指導短期宿泊事業	0	0	0

VII. 苦情について

No.	受付日	内容	対応
1	8/10	入所者家族が本人に面会した際、ユニットホールで1人ですごしており、テーブルの上にプリンとお茶が置いてあったが、職員に介助してもらえず手つかずであった。入浴後であったので、すぐに水分補給してほしかった。普段から水分補給や食事介助がしっかりとされているかどうか心配になった。	総括主任より電話にて状況を聞き取り、報告し謝罪する。 当時、突発事項の処理で職員がユニットを離れており、職員同士の指示・連携が取れていなかったことが原因。 中堅職員からの指示・連携を徹底するように周知した。

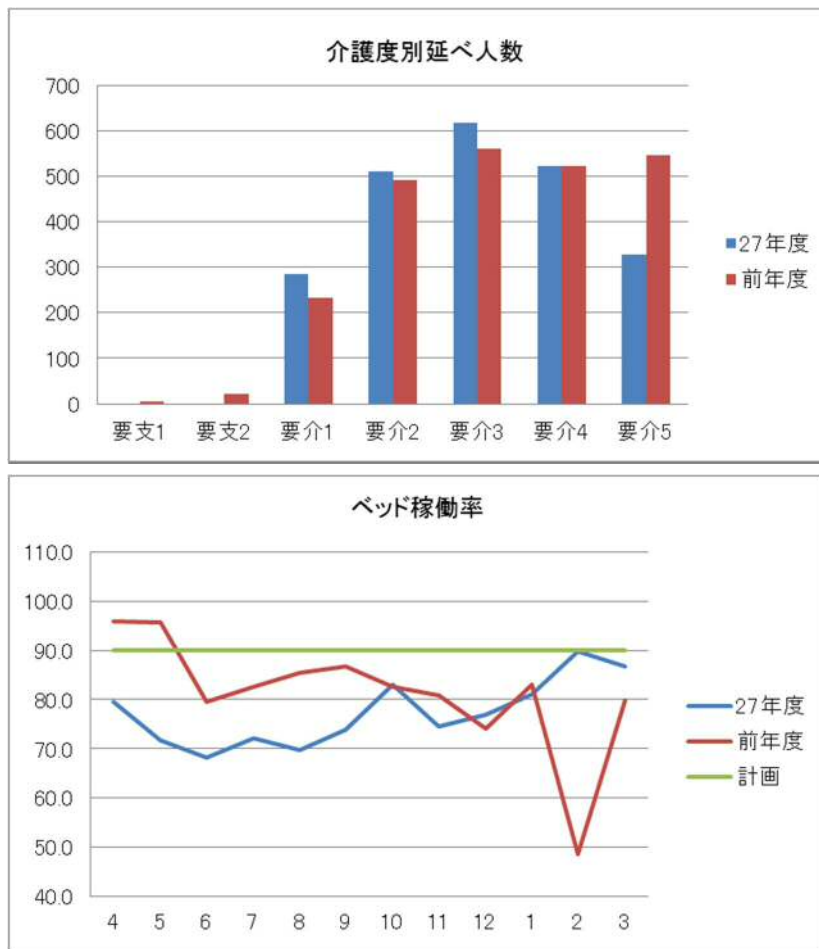
2. 陽光の家 短期入所生活介護事業所

短期入所事業所は、特養と一体的に事業所運営を行っている。

I. 利用者の状況

27 年度は、新規契約者 36 人 廃止 14 人。月平均実利用者は、31.4 人、前年対比 2.2 人増。延べ利用者数の前年対比は▲117 人、ベッド稼働率は 81.3%から 77.4%へ▲3.7%となった。100%を上限とする退所日を含まない稼働率は57.2%、前年比▲1.9%。27 年度は、事業計画の稼働率90%を超える月が1月もなかった。これは、要介護5の定期利用者の廃止・入院等が大きく影響している。

介護度	要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5	合計	平均		
									介護度	実利用者	稼働率
27年度	0	0	285	511	616	523	327	2,262	3.0	31.4	77.4
%	0.0	0.0	12.6	22.6	27.2	23.1	14.5	100			
前年度	5	22	233	491	560	523	545	2,379	3.0	29.2	81.3
%	0.2	0.9	9.8	20.6	23.5	22.0	22.9	100			
対比	▲ 5	▲ 22	52	20	56	0	▲ 218	▲ 117	▲ 0.0	2.2	▲ 3.9



II. 事業計画の実施状況について

短期入所部門 平成 27 年度部門目標

- (ア) ベッド稼働率 90%
- (イ) 在宅介護の継続支援(定期的・緊急時の利用対応)

(ア) ベッド稼働率 90%・・・実績 77.4% 内容上記利用者の状況参照

- (イ) 在宅介護の継続支援(定期的・緊急時の利用対応)

定期利用者は月平均 30 名(男性 8 名、女性 22 名)、緊急利用は 4 名(男性 1 名、女性 3 名)、いずれも主介護者の緊急入院であった。

IV. 苦情について

No.	受付日	内容	対応
1	7/24	利用者家族より、ショートステイから帰ったのち、2か所胸部と左膝に発赤を発見。連絡帳や送迎時に報告を受けていない。どうしてできたものか、すぐに見に来て報告してほしい。	総括主任と看護師で自宅を訪問。報告をできなかったことを謝罪。症状を写真に撮って帰り、原因等究明し報告することを約束する。 3 日後、衣服等の圧迫によってできたものであることを報告。介護職への注意を喚起し、記録報告を徹底する。

3. 陽光の家 通所介護事業所

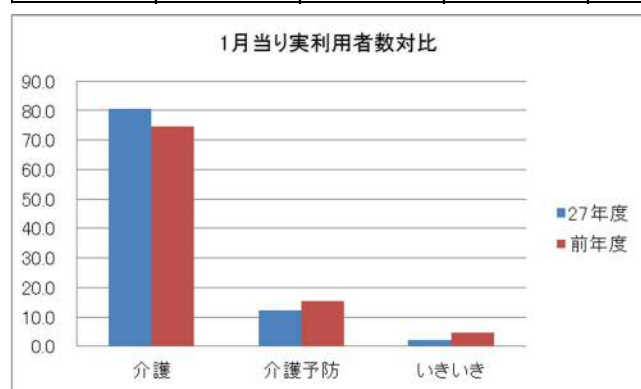
通所介護事業所は、指定通所介護事業、指定介護予防通所介護事業及び広島市高齢者いきいき活動支援通所事業、広島市生活機能維持向上事業を受託。

I. 利用者の状況

(ア) 1月当たり平均実利用者数

平成 27 年度の新規契約者は 44 人(うち介護 40 人、介護予防 4 人)廃止 25 人。1 月当りの平均利用者数は、合計 0.6 人の増となった。

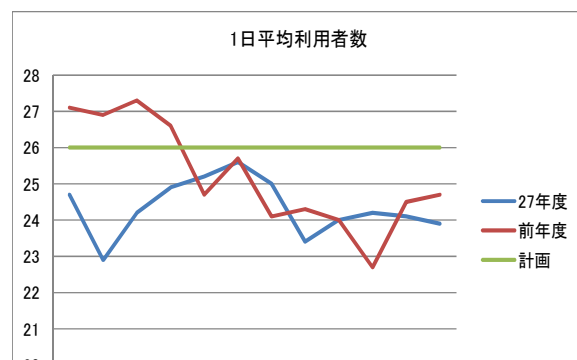
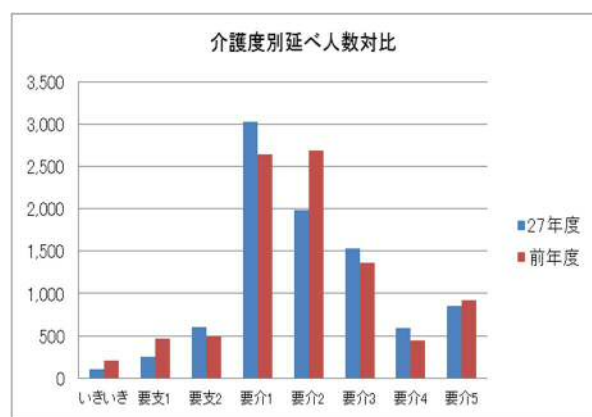
	介護	介護予防	いきいき	合計
27年度	80.6	12.3	2.3	95.2
前年度	74.6	15.3	4.7	94.6
対比	6.0	▲ 3.0	▲ 2.4	0.6



(イ) 介護度別延べ人数対比

延べ人数は、前年度から 272 人減、1 日当りの利用人数は 24.5 人で前年比▲0.7 人となった。介護度別では、いきいき・要支援 1・要介護 2・5 が減少し、要支援 2・要介護 3・4 が増加している。利用者数が伸び悩み、事業計画数値(26 人/日)を超える月がなかった。

介護度	いきいき	要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5	合計	1日平均利用者
27年度	103	247	597	3,023	1,979	1,534	592	857	8,932	24.5
%	1.2	2.8	6.7	33.8	22.2	17.2	6.6	9.6	100.0	
前年度	208	467	487	2,641	2,681	1,356	439	925	9,204	25.2
%	2.3	5.1	5.3	28.7	29.1	14.7	4.8	10.0	100.0	
対比	▲ 105	▲ 220	110	382	▲ 702	178	153	▲ 68	▲ 272	▲ 0.7



(ウ) 時間帯別延べ利用者数と夕食サービス利用者

時間帯別の延べ利用者数は、下表のとおり。前年と対比すると、少しずつ短時間の方へシフトしている。経営基盤確保のため、報酬額の高い7～9時間のサービスを50%確保することを目標としたが、38.7%に止まった。独居者や家族の都合で夕食を提供するサービスは808食と前年より▲284食となった。

所要時間	3～5時間	5～7時間	7～9時間	合計	夕食サービス
27年度	997	3,903	3,090	7,990	808
	12.5	48.8	38.7	100	
前年度	882	3,818	3,359	8,059	1,092
	10.9	47.4	41.7	100.0	

II. 職員の状況

生活相談員1名は、介護職を兼務している。

通所介護 職種	平成27年度期首(4月)			H27年度期中		平成27年度期末(3月)			配置 基準	
	人数	内非常勤	常勤換算	採用	退職	人数	内非常勤	常勤換算		
生活相談員	3	2	2.2	1	1	3	2	2.2	1	
看護職	3	1	2.8	1	1	3	1	2.8	1	
内 訳	正看護師	1	1	0.8	1	0	1	1	0.8	
	准看護師	2	0	2	0	1	2	0	2	
機能訓練指導員	1	0	1	0	0	1	0	1	1	
介護職	9	3	8.3	0	2	7	1	7.3	5	
内 訳	介護福祉士	7	2	6.6	0	2	5	1	5.3	
	その他	2	1	1.7	0	0	2	0	2	
運転手	1	1	0.2	0	0	1	1	0.2		
小計	17	7	14.5	2	4	15	5	13.5		

III. 事業計画の実施状況について

通所介護部門 平成27年度部門目標

(ア) 1日の平均利用者数 26人(介護・予防・いきいき活動・生活機能含む)

(イ) 腰痛予防、抱えない介護の実践

(ウ) 通所介護計画・個別機能訓練計画の作成・実践・評価の徹底

介護予防・生活機能向上のための個別機能訓練の充実

自立支援の向上(心身機能、活動、参加)

(エ) 介護者支援、介護負担の軽減

(ア) 1日の平均利用者数 26人(介護・予防・生きがい活動含む)・・・実績 24.5人

(イ) 腰痛予防、抱えない介護の実践

床走行式電動介助リフトを男性1名に使用。リフトは介護職員全員が操作できる。

(ウ) 通所介護計画・個別機能訓練計画の作成・実践・評価の徹底

更新時に加算項目にあった通所介護計画の作成。介護認定更新者のカンファレンス実施。

個別機能訓練計画 居宅訪問 100%実施

介護予防・生活機能向上のための個別機能訓練の充実

3 月末日現在 個別機能訓練加算Ⅰ算定者 66 人 年間延べ算定数 5498 回(458 回/月)

個別機能訓練加算Ⅱ 10 人 年間延べ算定数 198 回(内 78 回 3 月実施)

自立支援の向上(心身機能、活動、参加)

(エ) 介護者支援、介護負担の軽減

担当者会議出席依頼 100%出席

サービス提供時間後の延長及び夕食サービスの提供 365 日実施

III. 苦情処理状況

平成 27 年度は、苦情報告なし。

4. 陽光の家 訪問介護事業所

訪問介護事業所では、指定訪問介護事業、指定介護予防訪問介護事業、障害福祉サービス事業、広島市障害者(児)移動支援事業を実施。

I. 利用者の状況

(ア) 実利用者数と延べ訪問回数の前年対比

平成 27 年度の新規契約者数は、21 人(うち介護 7 人、介護予防 6 人、自費 8 人)廃止は 10 人であった。実利用者数の前年対比は、下表のとおり。前年度 40.9 人から 37.8 人と 3.1 人減少した。

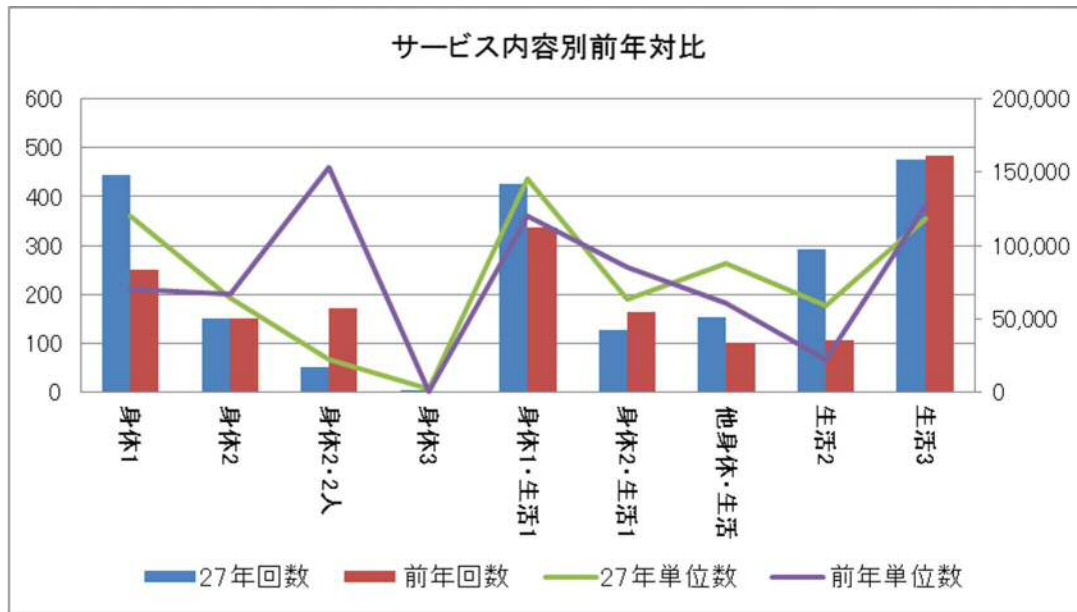
実利用者数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
27年度	41	37	37	40	39	39	39	36	36	35	37	38	37.8
前年度	37	42	41	42	42	43	39	40	41	43	41	40	40.9

27 年度期首と期末の利用者の区分を対比してみると、下表のとおり要介護者が▲1 人、介護予防者が▲1 人、障害者▲1 人となっている。

介護度	障害	要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5	合計
H27年4月	4	11	9	9	2	3	3	0	41
H28年3月	3	11	8	9	3	2	1	1	38
対比	▲1	0	▲1	0	1	▲1	▲2	1	▲3

介護保険サービス内容別訪問回数と算定単位数を前年と対比してみると、2 人対応の身体 2・2 人の利用者が利用廃止でなくなり大幅に減少、重度者の短時間訪問の希望から身体 1 が増加、前年度から身体介護と生活援助の複合サービスが増加している。

区分	身体1	身体2	身体2・2人	身体3	身体1・生活1	身体2・生活1	他身体・生活	生活2	生活3
27年回数	445	151	52	3	425	126	153	292	476
前年回数	250	150	172	1	336	164	100	105	484
対比	195	1	▲120	2	89	▲38	53	187	▲8
27年単位数	120,150	64,477	22,204	1,860	145,775	63,126	88,234	58,692	118,048
前年単位数	70,250	66,600	152,908	646	120,288	85,444	61,154	22,050	126,880
対比	49,900	▲2,123	▲130,704	1,214	25,487	▲22,318	27,080	36,642	▲8,832



II. 職員の状況

平成 27 年度は、期中の入れ替わりがあったが、職員体制の大きな変化はない。

訪問介護	平成27年度期首(4月)			H27年度期中		平成27年度期末(3月)		
	職種	人数	内非常勤 常勤換算	採用	退職	人数	内非常勤 常勤換算	
訪問介護員		6	4 3.8	2	2	6	4 3.2	
内訳	介護福祉士	4	2 3.6	2	2	4	2 2.9	
	その他	2	2 0.2	0	0	2	2 0.3	

III. 事業計画の実施状況について

訪問介護部門 平成 27 年度部門目標

- (ア) 月延べ訪問件数 290 件(介護 170 件 予防 100 件 障害 20 件)
- (イ) 腰痛予防、抱えない介護の実践
- (ウ) 訪問介護計画の作成・実践・評価の徹底
- (エ) サービスの質の向上(年間研修計画の実施、統一したサービス提供)

(ア) 月延べ訪問件数 290 件(介護 170 件 予防 100 件 障害 20 件)

計画と月平均の訪問件数実績対比は、以下のとおり。計画達成率は、102.2%となった。

	介護	予防	障害	合計
事業計画	170	100	20	290
実績	171.1	104.4	20.8	296.3
対比	1.1	4.4	0.8	6.3

(イ) 腰痛予防、抱えない介護の実践

5 月・9 月の理学療法士による施設内研修に各々 3 人参加。2 月に移乗をテーマにフォローアップ研修を行う。

(ウ) 訪問介護計画の作成・実践・評価の徹底

前年に引き続き、基礎的なサイクルを実行し定期的な同行訪問による利用者との関係づくりと、サービスの質の向上のため担当ヘルパーへの助言・指導を重点的に行った。

(エ) サービスの質の向上(年間研修計画の実施、統一したサービス提供)

法人全体の職員研修とは別にホームヘルパーフォローアップ研修計画を立て、月 1 回行うヘルパー会議に合わせて実施した。開催内容は下記のとおり。

研修項目	実施日
平成27年度事業計画 介護保険制度改正について	4/7
法令順守 記録・報告について 介護保険制度概要	5/12
虐待防止法・対応について	6/2
食中毒について(利用者宅での注意事項)	7/7
生活援助での事故・トラブル	8/4
身体介護での事故・トラブル 緊急時の対応	9/1
家族とのトラブル 事例検討	10/6
認知症利用者へのケアポイント	11/10
生活援助 技術	12/8
感染症在宅利用者への対応	1/12
身体介護技術 車椅子 移乗・移動	2/2
障害者総合支援法 予防介護について	3/8

IV. 苦情処理

平成 27 年度は、苦情報告なし。

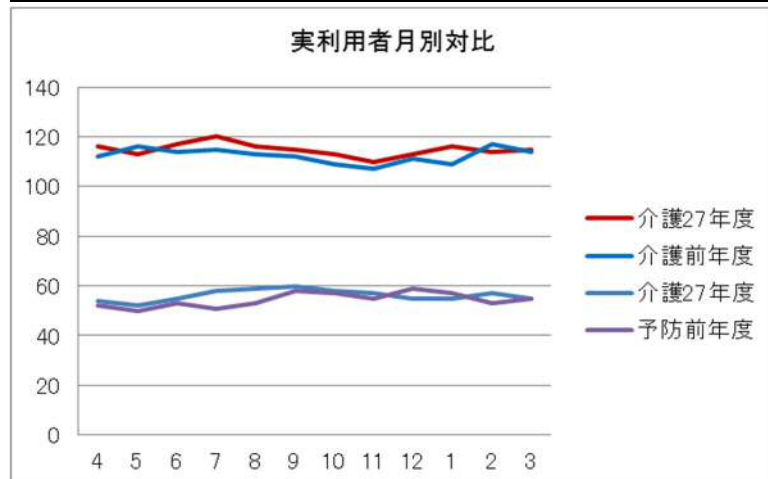
5. 陽光の家 居宅介護支援事業所

I. 利用者の状況

(ア) 実利用者数 (介護)(介護予防 各地域包括支援センターより受託)

平成 27 年度の介護新規契約者は 40 人、廃止 20 人となった。1 月当たりの件数は、114.8 件。前年度より月平均 2.6 件増加。介護予防給付は、月平均 56.3 件。前年より 1.9 件増加している。

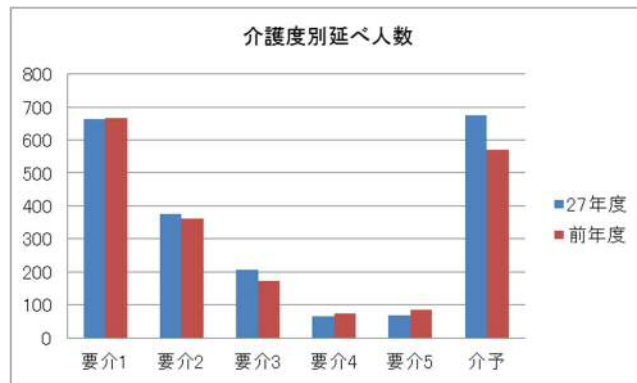
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
介護27年度	116	113	117	120	116	115	113	110	113	116	114	115	114.8
介護前年度	112	116	114	115	113	112	109	107	111	109	117	114	112.4
介護27年度	54	52	55	58	59	60	58	57	55	55	57	55	56.3
予防前年度	52	50	53	51	53	58	57	55	59	57	53	55	54.4



(イ) 介護度別延べ人数

介護度は、前年対比で要介護 1・2 が 107 件増加、要介護 4・5 が 22 件減少。介護予防受託分は前年と同数となっている。

介護度	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5	介護	合計	1ヶ月平均
27年度	663	377	206	64	68	675	2,053	171.1
%	32.3	18.4	10	3.1	3.3	32.9	100	
前年度	665	361	172	75	86	569	1,928	160.7
%	34.5	18.7	8.9	3.9	4.5	29.5	100	
対比	▲ 2	16	34	▲ 11	▲ 18	106	125	



II. 職員の状況

専任職員 3 人と兼務職員 3 人でスタート。4 月に兼務職員が 1 人退職したため非常勤職員 1 人を採用、7 月に兼務職員が退職、2 月に通所介護事業所の介護職の兼務職員 1 名を追加し、6 名体制とし、常勤換算では 0.4 人増員となった。

居宅介護支援	平成27年度期首(4月)			H27年度期中		平成27年度期末(3月)		
	人数	内非常勤	常勤換算	採用	退職	人数	内非常勤	常勤換算
介護支援専門員	6	3	4.0	2	2	6	3	4.4

III. 事業計画の実施状況について

居宅介護支援部門 平成 27 年度部門目標

(ア) 目標件数 介護給付月 130 件 予防給付月 70 件

(イ) 医療との連携

(ウ) 地域包括支援センターとの連携

(エ) 適切なケアマネジメント(計画的な研修計画、ケアカンファレンスの開催)

(ア) 目標件数 介護給付月 130 件 予防給付月 70 件

介護給付費 実績 114.8 件 達成率 88.3% 予防給付 実績 56.3 件 達成率 80.4%

(イ) 医療との連携

- ・ 地域包括支援センター主催の生活期・回復期連携推進会議に参加し、圏域内の医師や医療関係者との連携強化に努める。
- ・ 広島市西部認知症疾患センター主催の認知症に関する事例検討会に参加
- ・ サービス担当者会議への医療関係者の出席状況 214 回開催

医師 32 名 PT・OT 46 名 看護師 27 名 薬剤師 8 名

(ウ) 地域包括支援センターとの連携

- ・ サービス事業所との協働により、利用者の在宅生活の継続ができ、介護度変更時7割の利用者が、現状維持または改善することができ、重度化予防ができた。24 時間 365 日の相談対応で、利用者の安心を獲得でき在宅生活の継続ができた。
- ・ 利用者の入院中から病院関係者と支援を協働で始めることで、円滑な退院およびサービスの導入ができるようになった。地域包括支援センターの相談ケースにも積極的に対応することで、新規利用者の獲得につながった。

(エ) 適切なケアマネジメント(計画的な研修計画、ケアカンファレンスの開催)

- ・ 要介護認定更新結果 維持 51%(↓10%) 改善 15% 悪化 34%(↑10%)
- ・ 担当者会議 214 回開催
- ・ 事業所内定例会(毎週火曜日)にて、困難ケース等の支援方法の検討を行い、一人で抱えこまないよう情報を共有。
- ・ 事業所外では、毎月行われる佐伯区介護支援専門員自主勉強会や行政・地域包括支援センター開催の研修会へ参加。

IV. 苦情処理

平成 27 年度は、苦情等なし。

6. 広島市城山・五日市観音地域包括支援センター

I. 事業実施状況

事業実施場所 : 広島市佐伯区千同一丁目 30-6 高東ビル1階

圏域 : 広島市立城山中学校及び同五日市観音中学校 校区内

圏域高齢者人口 : 8,363 人 高齢化率:25.9% (平成 27 年 9 月現在)

		八幡	観西	観音	合計
高齢者人口(人)	H27.9	3,295	2,278	2,790	8,363
	H26.11	3,056	1,990	2,548	7,594
	対比	239	288	242	769
高齢化率(%)	H27.9	29.2	25.8	22.9	25.9
	H26.11	27.1	24.1	21.0	23.4
	対比	2.1	1.7	1.9	2.5

高齢者人口が 8,000 人を超え、平成 28 年度より地域包括支援センター運営業務の必置職員を 4 人から 5 人へ増員することとなる。下表は、広島市受託事業一覧。

受託業務名	27年度	26年度	対比
広島市地域包括支援センター運営業務(包括的支援事業)	24,579,000	24,579,000	0
広島市特定高齢者把握事業(単価契約)	338,680	452,160	▲113,480
広島市地域介護予防推進事業(単価契約) 1回60,000円×24回	1,440,000	1,440,000	0
広島市高齢者いきいき活動支援訪問事業(単価契約)	0	0	0
合計	26,357,680	26,471,160	▲113,480

① 広島市地域包括支援センター運營業務(包括的支援事業)

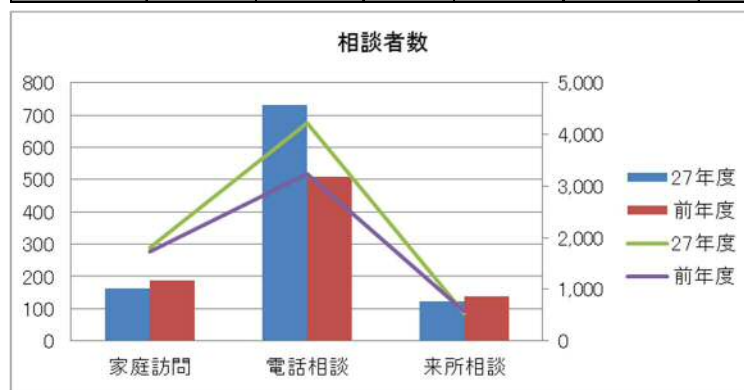
介護予防ケアマネジメント事業・・・特定高齢者把握事業

総合相談・支援事業、権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント事業

ア. 相談件数

前年と対比すると、実人数で 21.7%、延べ人数では 18.3%増加。相談方法は、いずれも電話が最も多く増加傾向にある。

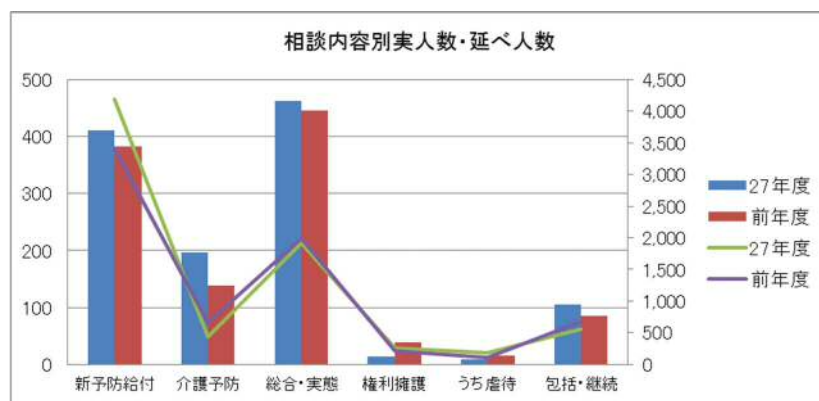
相談方法	実人数			延べ人数		
	27年度	前年度	対比	27年度	前年度	対比
家庭訪問	164	186	▲ 22	1,811	1,734	77
電話相談	730	509	221	4,219	3,230	989
来所相談	121	139	▲ 18	530	582	▲ 52
合計	1,015	834	181	6,560	5,546	1,014



イ. 相談内容

実人数では総合相談・実態把握が最も多く全体の 38.8%を占め、延べ人数では、介護保険制度の要支援1及び2の方への介護予防給付に関することが最も多く 56.9%を占める。

	実人数			延べ人数			
	27年度	前年度	対比	27年度	前年度	対比	
介護予防支援業務(新予防給付)	411	382	29	4,188	3,413	775	
包括的支援業務	介護予防ケアマネジメント(特定高齢者)	196	139	57	442	660	▲ 218
	総合相談・実態把握	462	445	17	1,914	2,000	▲ 86
	権利擁護	14	39	▲ 25	260	221	39
	うち 高齢者虐待相談人数	8	16	▲ 8	182	113	69
	包括的・継続的ケアマネジメント	105	85	20	558	678	▲ 120
合計	1,188	1,090	98	7,362	6,972	390	



② 広島市特定高齢者把握事業

特定高齢者の候補者として選定された者について、生活機能に関するチェックリストの結果等を踏まえ、別に定められた基準に基づき、参加することが望ましいと考えられる介護予防プログラムを判定する。事業実施に当っては、介護予防ケアマネジメントと一体的に実施する。

平成 27 年度事業実施状況

	27年度	前年度	対比
特定高齢者の判定	191	212	▲ 21
プログラムの判定(初回分)	37	42	▲ 5
プログラムの判定(継続分)	19	44	▲ 25
金額	338,680	452,160	▲ 113,480

③ 広島市地域介護予防推進事業

虚弱高齢者等が要支援・要介護状態になることを予防し、地域活動等に継続して参加することができるよう、地域の虚弱高齢者等のニーズに応じた介護予防に関する教室、講演会を公民館、集会所等の対象者が参加しやすい施設で年 24 回を上限に実施する。

平成 27 年度事業実施状況

開催場所別一覧

	内 容	区分	日 時	場 所	人 数
1	健康寿命と食育の大切さ	栄養	3月10日	折出会館	27
2	みんなで笑って脳の活性化	認知	6月11日	折出会館	24
				折出会館 集計	51
3	元気でいきいき健康長寿～お家でちょこっと体操～	運動	2月17日	観音台公民館	14
4	目指せ筋力アップ！～若さを取り戻そう大作戦①	運動	5月22日	観音台公民館	14
5	生活習慣から見る認知症予防について	認知	7月16日	観音台公民館	29
				観音台公民館 集計	57
6	バランス食で元気に過ごそう！～簡単アレンジでより健康に～	栄養	9月28日	倉重荘	22
7	口腔機能アップ！～お口の機能も元気モリモリ～	口腔	10月28日	倉重荘	25
				倉重荘 集計	47
8	生活の中に気軽に楽しく運動を！	運動	2月17日	千同二丁目集会所	25
				千同二丁目集会所 集計	25
9	バランス食で元気に過ごそう！～簡単アレンジでより健康に～	栄養	2月12日	月見台集会所	22
10	口腔機能アップ！～お口の機能も元気モリモリ～	口腔	3月11日	月見台集会所	22
				月見台集会所 集計	44
11	バランス食で元気に過ごそう！～簡単アレンジでより健康に～	栄養	11月27日	坪井公民館	15
12	認知症と向き合う～高齢者医療の現場から～	認知	9月17日	坪井公民館	42
				坪井公民館 集計	57
13	元気でいきいき健康長寿～お家でちょこっと体操～	運動	2月18日	坪井荘	54
14	心と身体と頭のリフレッシュ体操	運動	10月24日	坪井荘	32
15	みんなで楽しく脳の活性化を図る	認知	4月16日	坪井荘	50
				坪井荘 集計	136
16	みんなで楽しく脳の活性化を図ろう！	認知	3月9日	三宅中集会所	26
				三宅中集会所 集計	26
17	みんなで楽しく脳の活性化を図ろう！	認知	2月24日	薬師が丘第一集会所	40
				薬師が丘第一集会所	40
18	手軽に取り組める脳の活性化と運動	運動	11月16日	薬師が丘第二集会所	10
				薬師が丘第二集会所	10
19	目指せ筋力アップ！～若さ取り戻そう大作戦②～	運動	6月24日	八幡公民館	31
20	目指せ筋力アップ！～若さ取り戻そう大作戦～	運動	7月10日	八幡公民館	31
21	バランス食で元気に過ごそう！～簡単アレンジでより健康に～	栄養	11月11日	八幡公民館	20
22	元気でいきいき健康長寿～口腔機能と運動のかかわり～	口腔	2月12日	八幡公民館	18
23	みんなで楽しく脳の活性化を図ろう①	認知	5月27日	八幡公民館	16
24	今日からできる認知症予防	認知	6月22日	八幡公民館	51
25	みんなで楽しく脳の活性化を図ろう！②	認知	10月15日	八幡公民館	28
				八幡公民館 集計	195
				総計	688

区分別集計

区分	回数	人数
認知機能	9	306
運動	8	211
栄養	5	106
口腔	3	65
計	25	688

④ 広島市高齢者いきいき活動支援訪問事業

事業の利用が適当であるとの決定を受けた者の居宅を訪問し、生活機能評価に関する課題を総合的に把握し、利用者に必要な支援を行う。

対象者がいないため、実績なし

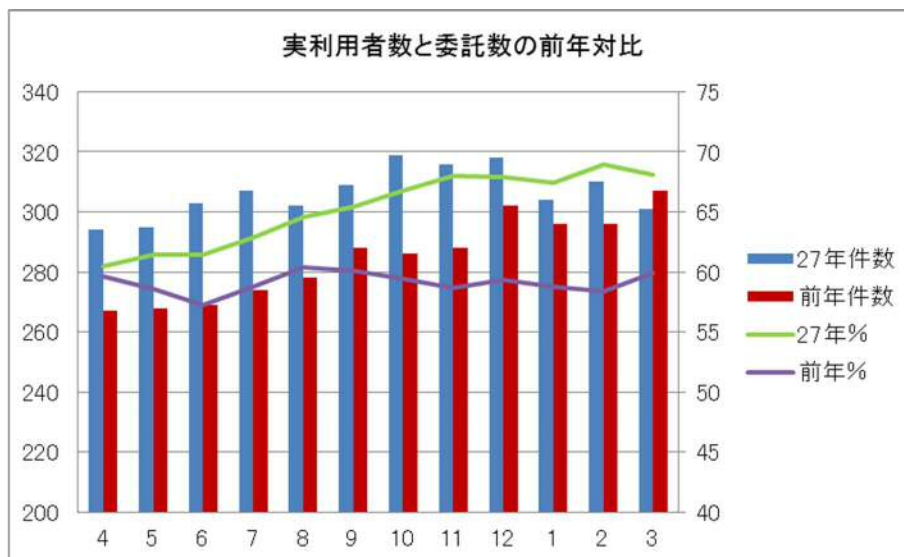
(1) 介護予防支援業務

① 利用者の状況

(ア) 利用者数月別推移と外部委託件数

27 年度は、1 月当たりの平均利用件数で、前年を 21.6 件上回っている。外部委託件数は、平均 31.9 件増加あり、委託比率は 65.4%で、前年比 6.3%増。

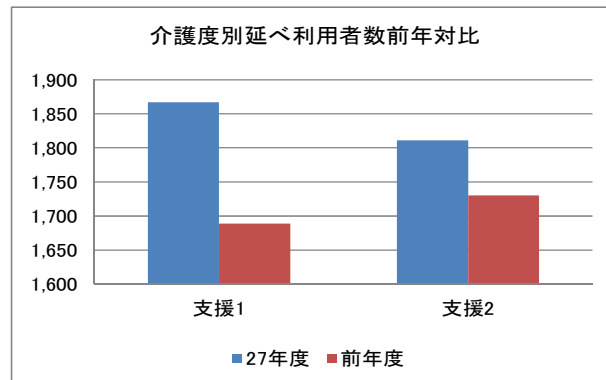
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
27年件数	294	295	303	307	302	309	319	316	318	304	310	301	306.5
27年委託	178	181	186	193	195	202	213	215	216	205	214	205	200.3
27年%	60.5	61.4	61.4	62.9	64.6	65.4	66.8	68	67.9	67.4	69	68.1	65.4
前年件数	267	268	269	274	278	288	286	288	302	296	296	307	284.9
前年委託	159	157	154	161	168	173	170	169	179	174	173	184	168.4
前年%	59.6	58.6	57.2	58.8	60.4	60.1	59.4	58.7	59.3	58.8	58.4	59.9	59.1



(イ) 介護度別利用者延べ利用者数前年対比

介護度別では、要支援1・2いずれも前年を上回った。要支援1の増加傾向が大きい。

介護度	支援1	支援2	合計
27年度	1,867	1,811	3,678
%	50.8	49.2	100
前年度	1,689	1,730	3,419
%	49.4	50.6	100
対比	178	81	259



II. 事業計画の実施状況について

地域包括支援センター部門 平成 27 年度部門目標

- (ア) 介護予防給付 直営 120 名(必置職員 40 件、介護予防プランナー80 件)
- (イ) 情報収集と関係機関とのネットワークづくり
地域の実態把握 医療と介護の連携 地域ケア会議の開催
- (ウ) 適切な介護予防マネジメント

- (ア) 介護予防給付 直営 120 名(必置職員 40 件、介護予防プランナー80 件)
- (ウ) 適切な介護予防マネジメント

平成 28 年 3 月末の時点で、直営 96 件(必置職員 41 件、介護予防プランナー55 件)、居宅支援事業所への委託が 205 件となっている。4 月に兼務職員のプランナーが退職し補充ができなかったため必置職員への負担が増えたが、1 人平均担当件数 20.75 件で限度枠(1 人 24 件)以内を維持。

- (イ) 情報収集と関係機関とのネットワークづくり
地域の実態把握 医療と介護の連携 地域ケア会議の開催
 - ・ 地域の実態把握
地域組織会議に参加。3 学区で計 51 会議に参加。新規相談内容のデータを分析している。
 - ・ 医療と介護の連携
ターミナルケアについて事例検討会を 1 回、生活期・回復期連携推進会議を 2 回、近隣包括支援センターと合同で開催。歯科医師・病院専門職・居宅介護支援事業所・サービス事業所からの参加者が延べ 100 名を超えたが、開業医との連携がまだ取れていない。
 - ・ 地域ケア会議を 7 回開催。個別ケア会議では、ケースにより地域の方がよく参加してくれた。観音学区では、民自協、社協とで定期的に情報交換ができるようになった。

- ・ 居宅・サービス事業所との研修、勉強会
 新人ケアマネジャー勉強会(計画 3回 実施 3回)
 主任ケアマネジャーネットワーク研修会(計画 6回 実施 6回)
 サービス事業所研修会(計画 2回 実施 2回)

	内 容	日 時	場 所	人 数
1	圏域内新人CM研修会(成年後見制度・かけはし)	6月9日	ナカムラ病院	7
2	圏域内新人CM研修会(野中式事例検討会)	10月14日	ナカムラ病院	10
3	圏域内新人CM研修会(介護予防ケアマネジメント)	2月10日	ナカムラ病院	4
1	主任介護支援専門員ネットワーク研修会(事例検討)	4月9日	佐伯区役所別館	9
2	主任介護支援専門員ネットワーク研修会(事例検討)	6月11日	佐伯区役所別館	9
3	主任介護支援専門員ネットワーク研修会(インテーク)	8月20日	佐伯区役所別館	10
4	主任介護支援専門員ネットワーク研修会(事例検討)	10月8日	佐伯区役所別館	6
5	主任介護支援専門員ネットワーク研修会(業務の指示、伝達の強化など)	12月17日	佐伯区役所別館	12
6	主任介護支援専門員ネットワーク研修会(事例検討)	2月12日	佐伯区役所別館	9
1	圏域内事業所研修会(認知症疾患別の基礎知識)	10月9日	佐伯区役所別館	30
2	圏域内事業所研修会(高齢者虐待防止について)	3月16日	佐伯区役所別館	40

- ・ 啓発事業として、下記の研修会を開催した。

	内 容	月	場 所	人 数
1	みんなで守ろう悪質商法、撃退!(無量寿会)	5月8日	三宅中集会所	61
2	圏域内新人CM研修会(成年後見制度・かけはし)	6月9日	ナカムラ病院	7
3	佐伯区民生委員・児童委員高齢者部会研修(高齢者防止法について学ぶ)	6月15日	石内福祉センター	48
4	高齢者虐待防止研修会	6月22日	コープ居宅介護支援事業所	15
5	圏域内事業所研修会(高齢者虐待防止について)	3月16日	佐伯区役所別館	40
6	みんなで守ろう悪質商法、撃退!	12月10日	観音台公民館	12
7	みんなで守ろう悪質商法、撃退!	12月17日	八幡公民館	29

III. 職員の状況

4月に介護支援専門員(プランナー)が退職。5月中旬より、非常勤の事務員を採用し、相談員の事務処理などの補助業務を行っている。

地域包括 職種	平成27年度期首(4月)			H27年度期中		平成27年度期末(3月)		
	人数	内非常勤	常勤換算	採用	退職	人数	内非常勤	常勤換算
保健師	1	0	1.0	0	0	1	0	1
社会福祉士	2	0	2.0	0	0	2	0	2
主任介護支援専門員	1	0	1.0	0	0	1	0	1
介護支援専門員	2	0	2.0	0	1	1	0	1
事務員	0	0	0.0	1	0	1	1	0.7
合計	6	0	6.0	0	1	5	1	5.7

IV. 苦情処理状況

平成 27 年度は、苦情等なし。